

北九州 市議会だより



NO.190

平成22年7月15日号
(年4回発行)

編集・発行
北九州市議会事務局総務課
TEL582-2621 FAX582-2685



◇市議会のホームページで「市議会だより」や本会議の「会議録」「インターネット中継」などをご覧いただけます。
アドレスは<http://www.city.kitakyushu.jp/page/gikai/>です。



勝山橋太陽光発電ルーフ

暴力団排除条例案等を可決!

6月定例会が6月10日から6月17日までの8日間の会期で開かれました。
市長から提出された議案は24件で、うち23件の議案を原案のとおり決定し、市民から直接請求のあった「北九州市国民健康保険条例の一部改正」議案を否決しました。
また、議員から提出された議案は18件で、うち12件を可決しました。

主な内容	1~3面	本議会で質疑・質問と答弁 可決した意見書 請願・陳情の審議結果 議会基本条例検討会
	4面	常任委員会および特別委員会の主な活動状況 資産公開など

本会議での質疑・質問と答弁

本会議での質疑・質問と答弁は、要約したものを掲載しています。
詳細は、9月上旬以降、各市立図書館において会議録をご覧いただけます。
また、市議会のホームページの会議録検索システムでも9月下旬ごろから閲覧できます。

迅速な対応を!

議員 5月26日に市口蹄疫防疫対策本部を立ち上げたが、本市での予防対策と口蹄疫が発生した場合の対応策を尋ねる。

市長 口蹄疫が収まりを見せず拡大する中、6月4日に第一回本会議を開き、防疫対策が迅速に行えるよう、組織体制や関係局の役割などを確認した。

これまで予防対策として、市内畜産農家への立入調査などを行い、消毒剤を無料配布するとともに、畜舎の消毒の徹底や関係者以外の畜舎への立ち入り制限等について指導した。

今後、本市で口蹄疫が発生した場合、直ちに対策本部を設置し、県と綿密に連携を取り合いながら、道路の通行制限を行うなど感染拡大を防止するための措置を徹底する。

口蹄疫が発生すれば、産地の消滅につながるかねない甚大な被害を及ぼすため、危機意識を持って臨む必要がある。市内で絶対に発生させないという強い信念で取り組み、万が一発生したときは初動対応を最重点に取り組む。

市の暴力団排除条例制定への市長の決意

議員 今議会に提出された北九州市暴力団排除条例制定にあたっての市長の決意を尋ねる。

市長 この条例は、昨年10月の県の暴力団排除条例の制定に伴い、

本会議では、各会派から次の18人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

- 野 依 謙 介(日本共産党)
- 三 宅 まゆみ(ハートフル北九州)
- 田 仲 常 郎(自由民主党)
- 後 藤 雅 秀(自民市民クラブ)
- 木 村 優 一(公 明 党)
- 大 石 正 信(日本共産党)
- 山 本 真 理(ふくおかネットワーク)
- 藤 沢 加 代(日本共産党)
- 佐 藤 一 榮(ハートフル北九州)
- 馬 場 武 弘(自民市民クラブ)
- 戸 町 直 樹(ハートフル北九州)
- 奥 村 直 樹(ハートフル北九州)
- 荒 川 徹(日本共産党)
- 上 野 照 弘(自由民主党)
- 森 浩 明(ハートフル北九州)
- 井 上 秀 作(自由民主党)
- 原 田 里 美(日本共産党)
- 石 田 康 高(日本共産党)



小倉南区暴力団排除総決起大会

市暴力団追放推進会議をはじめ市民の意見を広く取り入れ、まさに市民の条例として今議会へ提出した。
この制定作業の間に小倉南区買地区での新事務所開設やその後立ち上がった暴追運動のリーダー宅への発砲など、卑劣かつ凶悪な事件が続いた。
この緊迫した状況の中で提案した条例案が多くの市民に注目され、期待されていることを重く受け止めている。
暴力団の存在は、多くの市民が培ってきた平穏な暮らしを阻害するとともに本市のイメージを著しく失墜させる。
私たちは今、本市から暴力団を排除する新たなスタート地点に立ちっており、警察、行政関係者、事業者、市民と力を合わせ、この条例が実効性のあるものとするため、全力を挙げて取り組む決意である。